

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ビジネスソリューション基礎—問題解決の技法と実践 (Problem Solving Methods and Practices)		
ナンバリングコード	E20204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049601	クラス名	-
担当教員名	阿部 裕香里、小久保 雄介、山内 勝義		
履修上の注意、履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークが中心となるので、全回出席が基本である。 ・企業の方の講演があるので、講義中の私語、遅刻、その他無礼な行為は厳禁である。 ・教育効果を高める観点から履修者の人数を制限する可能性がある。 		
教科書	なし(資料を配布します)		
参考文献及び指定図書	渡辺健介(2007)『世界一やさしい問題解決の授業』ダイヤモンド社. 1、320円 内田和成(2006)『仮説思考—BCG流 問題発見・解決の発想法』東洋経済新報社. 1、760円 内田一成(2010)『論点思考—BCG流問題設定の技術』東洋経済新報社. 1、760円		
関連科目	経営学入門、マーケティング論、流通経営論、商品開発学、広告論、ブランド学		

○基本情報	
授業の目的	以下の技能を身につけることを目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決技法における、問題発見→要因分析→解決策提案のプロセスを理解している ・地域企業が抱える具体的な問題を明確にしつつ、協同でその解決策を考えることができる ・経営学の知識を問題解決に活かすことができる
授業の概要	現在、多くの日本企業が問題解決能力に優れた人材の育成・確保に頭を悩ませている。本学が位置する大分県地域の企業も例外ではなく、デジタル化やグローバル化を起因とする変化の激しい競争環境の中で、最も重要な解くべき問題を見極め、その要因を分析し、解決のための思考力と実行力をもった人材が求められている。一方で、大学がそのような問題解決の能力を持った人材を育成できているかという、必ずしもそうとは言えない。仕事とは、答えの見えない問題解決に日々取り組むことであり、社会人にとって問題解決の能力は必須である。本授業は、問題解決の技法を学び、大分県の地域企業の立場に立って問題解決に取り組むことを目的とする。 なお本授業は、本学における「人間力教育」およびビジネスソリューションコースの集大成となるものである。すなわち、実行力、チームワーク、思考力からなる「社会人基礎力」、他者を思いやる「こころの力」、ビジネスのリアリティを知る「職業能力」、そして経営学の「専門能力」これらを総動員
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	山内 勝義(やまのうち かつよし) 1983年より2015年まで広告会社の電通に勤務し、広告主に向き合う最前線にて、チームリーダー(プロデューサー)として大手広告主のコミュニケーション戦略の策定・実施に携わっており、本授業に豊富な実務経験を活かす。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	問題解決の技法の修得および企業の問題解決に対して高い関心と意欲を持っている。		10点	10点
【知識・理解】	問題解決の技法に関する知識を修得している。企業の抱える問題を正しく理解している。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	問題解決策にチームで取り組むにあたり、チームマネジメントの技能やチームメンバー同士のコミュニケーション能力を身に付けている。			20点
【思考・判断・創造】	経営学の理論と問題解決の技法を活用し、企業の問題を考える思考力を持っている。		20点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
成績評価は以下のものを通じて総合的に行う。 ・報告資料/プレゼンテーション(40%) ・ワークシート(30%) ・出席状況(20%) ・授業中の発言、受講態度(10%) 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
授業は以下のように進める。 前半: チームビルディング、問題解決の技法を学ぶ 中盤: 大分県下における各産業を代表する企業の実務家を招待し、実際に企業が抱えている問題についてご講演頂く 後半: 実務家の講演を踏まえ、学生が企業の抱える問題を発見し、要因を分析し、解決策を提案する ※この講義は、履修人数を50名に限定する。履修登録者が多い場合は、抽選等の方法にて履修可能な学生を選択し、掲示する。 ※他学科、他コースの学生も履修できる。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	ビジネスソリューション基礎－問題解決の技法と実践 (Proble	授業コード	E049601
	担当教員	阿部 裕香里、小久保 雄介、山内 勝義		
学修内容				
1. オリエンテーション なぜ問題解決の能力が必要か？授業の進め方の確認。 (担当: 山内、梶田)				
予習 これまでの経営学科目(経営学入門、マーケティング論、流通経営論、商品開発論、広告論など)の復習				
復習 授業内容の復習、問題解決の書籍などを調べる				
2. チームビルディング 問題解決に取り組むチーム分けを行い、チームごとに交流を図る。アイスブレイキング、グループ内での自己紹介。 (担当: 阿部)				
予習 自己紹介について考えておく				
復習 グループメンバーで交流を図る				
3. 問題解決の技法:問題の発見、要因の分析 問題とは何か？問題を解決するとは何か？ 問題の分解、真因の追及について学ぶ。授業後半に練習問題を行い、グループ討議、クラス討議を行う。 (担当: 梶田)				
予習 問題解決の書籍などを調べる				
復習 授業内容を復習し、グループ討議、クラス討議の内容をまとめる				
4. 問題解決の技法:解決策の選考 アイデア出し、アイデアの整理、実行可能性について学ぶ。授業後半に練習問題を行い、グループ討議、クラス討議を行う。 (担当: 梶田)				
予習 第3回授業内容の復習				
復習 授業内容を復習し、グループ討議、クラス討議の内容をまとめる				
5. 企業講演への準備 企業講演を聴講する上での準備を行う。ご講演頂く企業の概要、情報収集の方法、質問の仕方について学ぶ。 (担当: 小久保、梶田)				
予習 情報収集の方法について調べる				
復習 情報収集の方法の確認し、情報収集を進める				
6. 企業講演① 大分県下の企業の方にご講演をいただき、当該企業の現状と課題をお話しいただく。そのうえで、当該企業の問題解決を考える題材とする。 (担当: 山内、小久保、阿部、梶田)				
予習 当該企業について調査し、質問事項を考える				
復習 講演の内容をまとめる				
7. 企業講演② 大分県下の企業の方にご講演をいただき、当該企業の現状と課題をお話しいただく。そのうえで、当該企業の問題解決を考える題材とする。 (担当: 山内、小久保、阿部、梶田)				
予習 当該企業について調査し、質問事項を考える				
復習 講演の内容をまとめる				
8. 企業講演の情報整理 企業講演の内容をKJ法を用いて整理し、構造化する。 (担当: 小久保)				
予習 KJ法について書籍などを調べる				
復習 KJ法の内容を整理し確認する				

○授業計画	科目名	ビジネスソリューション基礎－問題解決の技法と実践 (Proble	授業コード	E049601
	担当教員	阿部 裕香里、小久保 雄介、山内 勝義		
学修内容				
9. 問題解決テーマ決め・授業内演習 企業講演の内容を踏まえ、問題解決のテーマを決める。各チーム発表に向けて準備を行う。 (担当: 梶田)				
予習 講演の内容を踏まえて独自の資料収集を行い、取り組む問題を決める				
復習 グループ内で役割分担を決め、資料収集や発表の準備を進める				
10. 授業内演習① 各チーム発表に向けて準備を行う。 (担当: 阿部、梶田)				
予習 グループ内で議論ができるように、各自資料収集や自分の考えをまとめておく				
復習 グループ内で役割分担を決め、資料収集や発表の準備を進める				
11. 授業内演習② 各チーム発表に向けて準備を行う。 (担当: 山内、小久保)				
予習 グループ内で議論ができるように、各自資料収集や自分の考えをまとめておく				
復習 グループ内で役割分担を決め、資料収集や発表の準備を進める				
12. 発表・リハーサル 各チーム、発表のリハーサルを行う。その後、クラス、教員からコメントをもらい、内容を改善する。 (担当: 阿部、梶田)				
予習 報告資料の作成、発表の練習				
復習 授業中のコメントをいかして、発表内容を修正する				
13. 問題解決発表:予選1 各チーム、問題解決の発表を行う。学生と教員の投票により、最も優秀なチームは本選で発表を行う。 (担当: 山内、小久保、阿部、梶田)				
予習 報告資料の作成、発表の練習				
復習 他のグループの良い点をまとめ、自分たちの発表に活かす				
14. 問題解決発表:予選2 各チーム、問題解決の発表を行う。学生と教員の投票により、最も優秀なチームは本選で発表を行う。 (担当: 山内、小久保、阿部、梶田)				
予習 報告資料の作成、発表の練習				
復習 他のグループの良い点をまとめ、自分たちの発表に活かす				
15. 問題解決発表:本選 選ばれたチームが本選に進み、最終のプレゼンテーションを行う。本選では、学生、教員、実務家が最も優秀な解決策を提案したチームを決める。 (担当: 山内、小久保、阿部、梶田)				
予習 報告資料の作成、発表の練習				
復習 これまでの授業内容を振り返る				
16. 期末試験 期末試験の実施または期末レポートの提出を課す。				
予習 これまでの授業内容を振り返る。				
復習 フィードバックをもとに見直しを行う。				